

No.662 (改題622号)
2025年
3月12日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

県政に民主主義と人権の回復を
県民が県政の正常化求めて行動

約150人が参加して県庁前で人間の鎖
デモ行進 2月18日、県庁前



県庁2号館前で「人間の鎖」

兵庫県知事選挙から3カ月が過ぎたが、今なお様々な波乱が起き、県政の混乱は収まらず、今回の知事選の異常さを改めて浮かび上がらせている。酷いデマによる誹謗中傷、脅迫の攻撃から家族を守るために知事選後に百条委員会委員だった下氏が県議を辞職し、その後の今年1月、自死にまで追い詰められて3人目の犠牲者となってしまった。そして、選挙戦のさ中、故人の人格や尊厳を踏みにじるデマを流しまくって斎藤知事を応援したN党の立花党首に、そのきっかけとなる非公認の百条委員会の音声データやウソ情報を書いた文書を維新の2人の百条委員会委員である県議がそれぞれ提供した事実も自らの告白で2月中旬に明らかになった(その後、2人は維新から除名と離党勧告の処分)。また、斎藤知事とともに公職選挙法違反で刑事告発されていたPR会社社長の関係先に兵庫県警と神戸地検が家宅捜索に入るとい

これらの異常なことが次々と明らかになって、今の斎藤知事は「公選法に違反した事実はない」「(パワハラ疑惑は)司法が判断すること」「しっかり県政に取り組み」と同じことを繰り返すだけの鉄面皮のような対応に終始している。こうしたなか、一方では県政を正常化させ、県政に民主主義と人権を取り戻そうと、斎藤知事のまったく反省がない姿勢を糾弾し、その責任を問う市民の動きも活発化している。

定例議会の開会日である2月18日、「県民のための県政を取り戻そう」と、市民デモHYOGOが中心になって呼びかけた県庁2号館前でのヒューマンチェーンが取り組まれた。3月上旬には百条委員会の最終報告が発

表されるのを前にして、約150人の市民が昼休みの時間帯に県庁前に集まった。参加者は「市民が声をあげ県政を変えよう」「がんばれ!百条委員会」「斎藤知事は辞職を」などのメッセージボードを掲げて、「人間の鎖」をつくりながら、リリースピーチで県庁に働く職員に声援を送るとともに、県議らを激励した。

こうした市民の動きは県内各地にも広がっており、2月13日の尼崎で20人が集まった「デマと脅迫から民主主義を守る集い」に続き、2月23日にはユーチューバーらが呼びかけた神戸での「兵庫県政の正常化を求める県民集会」にオンラインでつないだ補助会場を合わせて約1500人が参加した。また、3月1日には西宮市で120人が参加した「斎藤知事を民主主義と人権を取り戻す3・22兵庫県民大会」が3月22日(土)14時15分～15時15分神戸メリケンパークアピールとメッセージ

の辞職を求める集会」も開かれた。さらに今後、3月22日には市民デモHYOGOが中心になった実行委員会が呼びかける屋外での「民主主義と人権を取り戻す3・22兵庫県民大会(左記別掲)」が予定されている。(3月1日記) (中村、上野)

ひょうご (159)
描き歩き
山陽電鉄・須磨寺駅から北に商店街とゆるやかな石畳の参道を上っていくと、ほどなく源平ゆかりの名刹、須磨寺に着く。正式名は福祥寺であるが古くから通称の須磨寺と呼ばれ、「須磨のお大師さん」としても親しまれている。訪れた日は初大師の日で、参道の両側には多くの出店が並び参詣者で賑わっていた。

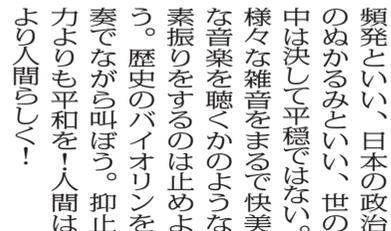
寺の縁起によれば、平安時代の初め、漁師が和岬の沖で聖観音像を引き上げ、それを本尊として祀る寺として建立されたといわれている。険しい山の中腹を切り開いて建立されていて、画に似た仁王門を入るとすべ左手に源平の庭があり、平家物語の中でも美しく悲



しい場面として有名な平家の若千16歳の若武者、平敦盛と源氏の武将、熊谷直実とが一の谷の波打ち際で一騎打ちする場面を現した像が立つ。一の谷合戦のとき、須磨寺は源氏の大将、源義経の陣地であったと伝えられている。その庭の前には「笛の音に波もよめる須磨の秋」の蕪村句碑が立ち、歌舞伎「一の谷歎詞」に登場する「若木の桜」も傍に。境内には他にも芭蕉や子規らの句碑も多くあり、それらを迎えるのも楽しい。

唐門から境内に入ると正面に本堂、その両脇に護摩堂と太子堂があり、左手に書院や三重塔などが続き、奥に敦盛塚(首塚)もある。(嶋谷)

最低賃金を全国一律1500円に
2025パートアクション
マイナス状態」が続いている。大手企業の労働組合では昨年以上の賃上げ要求をしているところもあるが、春闘の成果が中小、非正規労働者へ波及する期待は薄い。最低賃金引き上げの取り組みは、未組織労働者を含めた多くの労働者にも影響する「賃金底上げ」の取り組みとして重要である。ことを再確認した。
「三二集会終了後、参加者は、JR元町駅前の交差点まで「物価高騰に見合った最低賃金を獲得しよう」均等待遇を実現しよう」などのシュプレヒコールを挙げながらデモ行進を行った。(右)



兵庫県パート・ユニオンネットワークは「パートアクション」を取り組み最賃の引き上げや均等待遇などをデモでアピールした=2月16日、神戸市中央区

水脈
先日過ぎ去った2月26日、かつて日本を震わせた26事件から89年目の日であった。ところが、ほとんどの新聞は、特集はおろか、わずかの記事にすることもなかった。わが家に届けられた新聞も、書籍の広告欄に1冊の関連本を見出したのみであった。▼思いをつなぐものといえば、大雪に関する情報のみであった。隣の韓国では、大統領自身が惹き起こしたクーデターの弾劾裁判が進められているというのに▼26事件。青年将校に率いられた2千人足らずの未明の反乱は、戒厳令が布告される下で、29日(その年は閏年)まで続いた。失敗に帰したとはいえず、この反乱が日本の歴史を戦争とファシズムへと転がり落とすきっかけになったことに異を唱える人はいない▼反乱部隊が進発した歩兵一連隊、三連隊の跡地が、今では六本木・麻布界隈となって賑わっているとはいえず、26事件を忘れ、歴史を遠ざけていいものだろうか▼ランプの暴言の頻発といい、日本の政治のぬかるみといい、世の中は決して平穏ではない。様々な雑音をまるで快美な音楽を聴くかのような素振りをするのは止めよう。歴史のバイオリンを奏でながら叫ぼう。抑止力よりも平和を!人間はより人間らしく!

ピケティの『資本とイデオロギー』を読み解く ひょうご社会主義ゼミナール



岩佐卓也専修大学教授が1000ページを超えるピケティの著書のエッセンスを解説した=2月22日、神戸市兵庫区

「ピケティの『資本とイデオロギー』を読み解く」をテーマに、ひょうご社会主義ゼミナールが2月22日、神戸市内で開かれた。

岩佐卓也専修大学教授が、千ページを超える同著のエッセンスを3時間の講演で解説した。ピケティが駆使している統計データから9つを選び、その図表をもとに解説するという趣向であった。

最も中心的なテーマは、「所得と資産」の格差が広がるなかで、なぜ極右政党が伸びているのかを読み解くことであった。フランス革命によって「所有権社会」から「資本主義」になり、資本家に富が集中し、「格差」が生まれることになった。

講演後の懇親会では、「科学的な社会主義」1月号から連載が始まった岩佐教授による「資本論」を味わう」を単行本で発行しようということになった。ご期待。

- ◎基調講演や特別報告 (神戸、苫小牧、高知、八重山から) など◎主催
- ◎集い実行委員会/共催
- ◎憲法を生かす会・ひょうごネット
- 第54回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭 ◎3月17日 (月) 13時30分◎葉仙寺 (神戸市兵庫区/JRR兵庫駅、地下鉄海岸線・和田岬駅から徒歩あり)
- ◎主催◎神戸空襲を記録する会
- 5・3兵庫憲法集会フ列集会 ◎3月21日(金) 18時30分◎神戸市立総合福祉センター・第5会議室

改憲への執念 自衛隊 明記・緊急事態条項優先 自衛隊は2月20日、憲法改正実現本部を開いた。法改正実現本部を開いた。法改正実現本部を開いた。法改正実現本部を開いた。

改憲の動きをウォッチング 計画を決定した。基本計画は原発を「最大限活用する」と明記し、東京電力福島第一原発事故以降掲げてきた「可能な限り原発依存度を低減する」の文言を削除した。

改憲の動きをウォッチング 計画を決定した。基本計画は原発を「最大限活用する」と明記し、東京電力福島第一原発事故以降掲げてきた「可能な限り原発依存度を低減する」の文言を削除した。

昨年の衆議院選挙で「103万円の壁を破る」手取りを増やす」という政策で国民民主党は若者を中心とした支持を得て議席を4倍増させた。少数与党となった自公政権は予算案の「賛成」と引き換えに同党のこの政策を取り入れるために協議が行われた。最初、与党側が給与所得控除10万円プラス基礎控除10万円の計20万円の引き上げを示したが物別れに終わり、再度協議することとなった。妥協案が出されているがこの記事が掲載されるまでまだまだ紆余曲折があるものと思われる。

この「103万円の壁を破る」手取りを増やす」というフレーズはわかりやすい政策に見えるが、その「手取り」はどれだけ国民ひとりひとりの財布に入るのだろうか。

所得税を算出するためにはまず「所得」がいくらになるかを計算する。自営業者は収入から経費を引いた金額が「所得」になるが、給与所得者の場合、収入から給与所得控除を引いた金額が「所得」となる。

給与所得控除は最低保証55万円(収入により計算され、収入が161万円以下では55万円、最高は195万円)。基礎控除は48万円(所得の合計が240万円以下で、245万円までは基礎控除は32万円、250万円までは基礎控除は16万円)なので、収入が103万円以下の場合基礎控除されない。

これを「壁」にたとえ、国民民主党は「178万円まで引き上げよ」と訴えている。この訴えが若者の心に刺さり大躍進した。次に、「所得」から税額を計算する。具体的には「課税所得」として計算する。具体的には「所得」から基礎控除や扶養者控除、社会保険料控除、医療費控除などを差し引いた金額が「課税所得」となる。この金額から所得税を計算する。

所得税額は課税所得から計算され累進的に増加する。194万円9千円までは5%、これを超過し329万円9千円までは10%、さらに694万円9千円までは20%(これより上は略す)となっている。

国民民主党の主張とおりとなった場合、上記を踏まえて、ほかの控除を無視し試算してみると、178万円まで「壁」が移った場合、20世紀に入り、所有権が制限される社会になる。ところが、1980年代に「能力主義」と「新産業主義」が結合し、貧者となるのは「自業自得」であるとされる社会になった。

一方、左派政党が「労働者の党」から「高学歴者のパラモン(ヒンズー教の聖職者)」の党に変貌していき、その結果、大衆階級は「見捨てられた」と感じ、反移民論や自国民第一主義イデオロギーが社会に根付いたということが指摘された。

玉木代表の街頭演説の映像をもう一度確認したが、非課税の限度額を上げるとか言っていない。はっきり言ってしまうと、「有権者の勘違い」で支持されている。いつまで支持されるのかわからないが、懐かしく思える年末以降の話だ。

低所得者の生活向上を図るため非課税の限度額を上げるとは大賛成だが、高所得者まで恩恵を受けることは疑問だ。逆に、最高税率をひき上げ所得再配分となるようにすべきではないか。

私の主張

所得税を算出するためにはまず「所得」がいくらになるかを計算する。自営業者は収入から経費を引いた金額が「所得」になるが、給与所得者の場合、収入から給与所得控除を引いた金額が「所得」となる。

給与所得控除は最低保証55万円(収入により計算され、収入が161万円以下では55万円、最高は195万円)。基礎控除は48万円(所得の合計が240万円以下で、245万円までは基礎控除は32万円、250万円までは基礎控除は16万円)なので、収入が103万円以下の場合基礎控除されない。

これを「壁」にたとえ、国民民主党は「178万円まで引き上げよ」と訴えている。この訴えが若者の心に刺さり大躍進した。次に、「所得」から税額を計算する。具体的には「課税所得」として計算する。具体的には「所得」から基礎控除や扶養者控除、社会保険料控除、医療費控除などを差し引いた金額が「課税所得」となる。この金額から所得税を計算する。

所得税額は課税所得から計算され累進的に増加する。194万円9千円までは5%、これを超過し329万円9千円までは10%、さらに694万円9千円までは20%(これより上は略す)となっている。

国民民主党の主張とおりとなった場合、上記を踏まえて、ほかの控除を無視し試算してみると、178万円まで「壁」が移った場合、20世紀に入り、所有権が制限される社会になる。ところが、1980年代に「能力主義」と「新産業主義」が結合し、貧者となるのは「自業自得」であるとされる社会になった。

一方、左派政党が「労働者の党」から「高学歴者のパラモン(ヒンズー教の聖職者)」の党に変貌していき、その結果、大衆階級は「見捨てられた」と感じ、反移民論や自国民第一主義イデオロギーが社会に根付いたということが指摘された。

玉木代表の街頭演説の映像をもう一度確認したが、非課税の限度額を上げるとか言っていない。はっきり言ってしまうと、「有権者の勘違い」で支持されている。いつまで支持されるのかわからないが、懐かしく思える年末以降の話だ。

低所得者の生活向上を図るため非課税の限度額を上げるとは大賛成だが、高所得者まで恩恵を受けることは疑問だ。逆に、最高税率をひき上げ所得再配分となるようにすべきではないか。

多くの女性が夫の扶養の範囲内に所得を抑えるためにこの「壁」を越えないよう調整して働いている。最低賃金が上がっても扶養の範囲で働けば「手取り」は増えない(増やせない)。「壁」を個別に議論せず、女性の働き方や生き方(男性も含めて)の問題として少子高齢化の問題と合わせ総合的に議論しなければいけないのではないだろうか。

若嶋秀明(新社会党須磨支部書記長) (2月27日記)

「壁を破る」より所得再配分となるような税制にすべきだ

所得再配分になる税制を

所得の「壁」について総合的に議論を

この「103万円の壁」のほかに、厚生年金の加入基準(50人以上の法人事業所)である「106万円の壁」、健康保険などの被扶養者基準の「130万円の壁」など様々な「壁」が取り沙汰されている。

多くの女性が夫の扶養の範囲内に所得を抑えるためにこの「壁」を越えないよう調整して働いている。最低賃金が上がっても扶養の範囲で働けば「手取り」は増えない(増やせない)。「壁」を個別に議論せず、女性の働き方や生き方(男性も含めて)の問題として少子高齢化の問題と合わせ総合的に議論しなければいけないのではないだろうか。

若嶋秀明(新社会党須磨支部書記長) (2月27日記)

改憲の動きをウォッチング

改憲への執念 自衛隊 明記・緊急事態条項優先 自衛隊は2月20日、憲法改正実現本部を開いた。法改正実現本部を開いた。法改正実現本部を開いた。

改憲の動きをウォッチング 計画を決定した。基本計画は原発を「最大限活用する」と明記し、東京電力福島第一原発事故以降掲げてきた「可能な限り原発依存度を低減する」の文言を削除した。

改憲の動きをウォッチング 計画を決定した。基本計画は原発を「最大限活用する」と明記し、東京電力福島第一原発事故以降掲げてきた「可能な限り原発依存度を低減する」の文言を削除した。

改憲の動きをウォッチング 計画を決定した。基本計画は原発を「最大限活用する」と明記し、東京電力福島第一原発事故以降掲げてきた「可能な限り原発依存度を低減する」の文言を削除した。

改憲の動きをウォッチング 計画を決定した。基本計画は原発を「最大限活用する」と明記し、東京電力福島第一原発事故以降掲げてきた「可能な限り原発依存度を低減する」の文言を削除した。

関生京都事件に無罪判決

京都地裁、公訴事実4件すべてに あたり前の労働運動と裁定



判決公判後の報告集会で無罪判決の喜びを語る湯川祐司関生支部委員長＝2月26日、京都市

を4事案で恐喝、恐喝未遂、強要未遂罪などで起訴し、懲役10年を求刑していた事件で、京都地裁は2月26日、無罪判決を言い渡した。

全日建連帯労組関西地区生コン支部(関生支部)の組合員が在籍していた会社の解散に際し、2013年5月14日、生コン事業者の協同組合にストライキを配置して解決金を要求し1億5千万円の解決金を勝ち取ったことなどをめぐり、京都地裁は同労組の湯川祐司委員長と武建一前委員長の2人

説が行われた。共通して言われたのは、京都3事件は刑事事件の構成要件に該当せず、そもそも起訴されるような事件ではないということだ。だから川上宏裁判長は「ストライキで畏怖させ解決金を脅し取った」とする検察側の主張を全面的に退け、「ストライキは協定内容を履行しなかったこと

に依りてされたもの」としてその正当性を認めたとを評価した。これにより法廷で争う延べ39人のうち19人が無罪となった。

これらを受けて全国の支援する会や、日東電工(大阪市)の大量解雇で訪日中の韓国建設労組からも熱い連帯のあいさつなど続いた。(岡崎進)

その後、新社会党の岡崎宏美委員長、あわはら富夫神戸市議、小西達也らこう工療生協理事長をはじめ、市民運動、労働運動、旧後援会の関係者や地元・鶴甲の住民、高校時代の友人(メッセ)を娘の井上明子さんが代読)、さらに活動の大先輩である今村稔さんら、井上さんが関わってきたさまざまな活動の分野でゆかりの深い9人から、井上さんの生きざまや人となりそれぞれの語り口で語られた。

井上力さん、長い間お疲れさま 170人が参列してお別れ 井上力さんを偲ぶ会

昨年11月28日に急逝した元神戸市議でろうこう医療生協の専務理事なども務めた井上力さん(享年75歳)を偲ぶ会が2月16日、神戸市灘区の王子動物園ホールで開かれ、約170人が参列して井上力さんとの別れを惜しんだ。



偲ぶ会では多方面で精力的に活躍した井上力元神戸市議の活躍の足跡をスライドやスピーチで偲んだ＝2月16日、神戸市灘区

会の冒頭、主催の実行委員会を代表して、井上力さんと学生時代から同じ灘区で活動を共にしてきた吉田俊弘さん(元兵庫県議、元新社会党灘総支部委員長)があいさつしたあと、井上力さんの活動の足跡を振り返るス

ちで派遣先で働いていて、誰が同じ会社の派遣社員なのかわからない。その名簿提出を求めたが、会社からは「必要ない」と拒否された。ユニオンに加盟しているからだと思ふ。派遣会社の理不尽な態度を団体交渉で明らかにして、一人ぼっちではなく派遣労働者を1人で2人でも組織したい。岩本義久(はりまユニオン書記長)

地域ユニオン あちこちあれこれ

H派遣会社と「雇用契約」を交わしているOさんから相談を受けた。聞いた内容は以下のような

「派遣先でケガをして労災の申請手続きをしたが、数か月経っても説明がない。労働基準監督署に問い合わせると、間違いがあるので是正を求めているとのこと。健康診断も2年受診していないので、そのことを尋ねても何の返答もない。給与も年1回10月

派遣労働者の置かれている現実

「組合ってそんなもん」

「個人的な相談は出来ない」という返答だった。

「個人での対応・解決」

「個人での対応・解決」

「個人での対応・解決」

「組合ってそんなもん」

「個人的な相談は出来ない」という返答だった。

「個人での対応・解決」

「個人での対応・解決」

「個人での対応・解決」

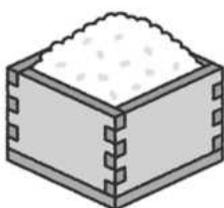
お米を取り巻く事情について

お米の値段が1年前の倍近くになっていることは、ニュースや特集番組などでご存知のことと思います。政府の遅すぎた備蓄米の放出も、最速でも流通業者に販売されるのは3月の中旬。不足感は消えず、当分、価格安定に効果は期待できません。昨年夏以降、米を確保するため、業者も高値の取引をしており、放出する備蓄米の量程度では価格に反映はなさそうです。さらに、今年も事実上の減反政策の継続や異常気象などを考えれば米不足の解消は難しく、こうした状況から夏頃には再び米不足が問題になるのではとの見方が強まっています。実際、年が明けても米の高騰は続き、スーパー等の店頭価格は5*。4,500円があたり前になっています。

弊社でも昨秋から2回にわたり、値上げをお願いしましたが、この影響は避けがたく、4月配達分から値上げをお願いせざるを得ません。生産者・業者ギリギリの努力で一般店頭価格と比べ抑えた額にしています。何卒ご理解いただきますようお願い致します。

4月配達分からの価格について

でかんしょ米 (小多田屋米穀店)	5*。 3,800円	3*。 2,280円
ささや米 (耕しや)	5*。 3,500円	玄米 5*。 3,300円)



●でかんしょ米、ささや米、どちらも丹波篠山産コシヒカリです。現在、インターネットでの販売はしていません。

(有)ぴいふる
電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

昨年、就職して初めて配属された職場の人たちと会う機会があった。ずいぶん長い間会っていなかったし、娘たちのごりから急に手伝いを頼まれることもあるので、躊躇していたのだが、同じ灘区に住むYさんを通じて何度も声をかけてもらったので、Yさんと一緒にランチに出かけた。会った瞬間は少し緊張したが、情報通のIさんから同じ職場にいた人たちの消息も聞き、いろいろ話を聞いて、あっという間に時間が過ぎた。初めて配属された職場は、男性ばかりの職場で、女性ほんの一握り、十数人しかいなかった。それで、何をしても目立つ。就職初日に遅刻しちゃうなんてYさんとう入で走ってどうにか間に合ったと思ったり、さっそくそれが噂になっていったのは驚いた。当時、「婦人部」と呼ばれていた女性組合員の活動は活発で、ちょうど男女雇用機会均等法の制定を前にした時期で、地域での集会にも参加したのを覚えている。組合とは関係なく、第九のコンサートにも参加するのに職場の人たちと練習に通っていたことなどもなつかしく思い出した。

声を上げ続けたい

飲み会に出かけたりして、いるそだ。そこでまた情報が豊富になるようだ。また、Sさんは退職をして給食の調理の仕事をしているとのこと。前とはぜんぜん違う仕事をしているんだなあと意外であるとともに、こういうスタッフとして働き続けているのだが、聞いてみるとパワハラではないかと思える対応を受けていた。久しぶりに会ってなかなかしんどい話もしくなってきたようで、またゆくり話そうと思いつつ、Yさんも休日にはリラックスする予定があるようで、なかなか会えていない。働き続けるにあたって、いろいろな壁にぶつかると、出産、育児については少しずつ改善され、私の子育ての際にはなかった育児休暇も男性も含めて取得できるようになっていて、介護についても改善されている。しかし、期間雇用社員についてはまだまだだし、パワハラ等の人権侵害についてはたびたび「処分事案」として聞くにもかわらぬ各職場で起きている。今年も女性差別撤廃条約の締結から40年、いまだに選択議定書の締結がされず、通報制度が利用できない状況になっている。昨年施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」もまだ知られていない。そうして楽しく過ごした帰り道、Yさんが職場の様子を話してくれたのだが、人間関係がうまくいっていないようだ。Yさんは私と同じくシニア



Yさん

『介護格差』

結城康博著／岩波新書／1100円(税込み)

安心と笑顔の社会保障ネットワークは昨年12月、神戸市に提出した要望書で「公的な介護職員の配置を検討していただきたい」の項目を新たに追加した。この要望については、作家の落合恵子さんと本書の著者である結城康博さん（淑徳大学総合福祉学部教授）が、介護保険改善をめぐる対談の中で公務員ヘルパーの必要性に言及したことからヒントを得た。そして待望の『介護格差』が発行され、すぐに注文した。タイトルの通り、経済力の格差、地域間の格差、保険内サービスと保険外サービスの格差などが論じられている。

本棚

べきである」と力説している。そのうえで、公務員ヘルパーは、民間ヘルパーの対応では限界がある要介護高齢者の「処遇困難ケース」に対応していく役割があるとしている。昨年8月18日の「しんぶん赤旗」（日曜版）は訪問介護事業の問題について報道していた。「訪問介護事業所が休止や廃業に追い込まれ、サービスの『空白地域』が広がっています。事業所がない自治体が6月末時点で全国97町

新たな公務員ヘルパーの創設を

村にのぼることが分りました。残り1事業所だけの自治体も277市町村あります。4月から訪問介護の報酬を減らした岸田政権の失政は明らかです」と。ゼロ自治体の北海道中頓別町が2事業を町営化した。同じく茨城県利根町では隣接の2市からのサービス提供を受けている例も紹介している。経営上の利潤がなければ介護サービスが提供できない市場原理の欠陥は明らかである。利潤ではなく、高齢者の尊厳を重んじる公的介護サービスが強く求められている。石破政権でもこれからも引き続き介護保険の改善が数多く議論されている。明確な改善を提言しているのは、「省庁の中の省庁」と言われる財務省である。昨年11月に来年度予算に向けた建議で介護分野の考え方が示されたが、そのいくつかを紹介したい。ひとつは、訪問介護事業は倒産より新規参

雪の花ーともに在りてー

江戸時代は鎖国政策が約200年にわたって続けられた。

その結果、西洋からの文化・技術導入が遅れ、医学（医療）の面においても、漢方医が主流となり、蘭学による蘭方医の育成に困難が生じた。吉村昭は、日本の種痘史と伝染病予防に取り組んだ人物として笠原良策に注

目し、小説『雪の花』を書き上げた。物語は江戸末期。死に至る病として恐れられていた痘瘡（天然痘）が猛威を振るい、多くの人命を奪っていた。

了玄（吉岡秀隆）と出会い、蘭方医学であれば治療できるかも知れないと告げられる。良策は友人でもある福井藩・藩医の半井元沖（三浦貴大）の紹介で京都の蘭方医・日野鼎哉（役所広司）に師事するため京都に向かう。「名を求めず、利を求めず」という鼎哉の教えに共感し、蘭方を学び治療法を探し求めた。そんなある日、異国では痘瘡を防ぐ「種痘」という方法があることを知る。だが、種痘を行うためには「種痘の苗」を取り寄せるための幕府の許可



が必要だった。実現には困難が予想さ

入が容易で事業全体は増加傾向にあり、「経営の協働化・大規模化」を進めながら人材確保を進めるとしていることだ。訪問介護事業は報酬引き下げによって青色吐息、廃業や倒産も見聞きする。兵庫県の介護職員の平均時給は1231円（2023年度）だが、石破首相も言及する最賃1500円が実現されると倒産・廃業はもっと増える。最賃引上げの取り組みとともに介護事業所への国や自治体の財政支援が不可欠である。もうひとつは、介護保険における「負担の公平化」を強調していることだ。多くの国民がマイナポイント2万円に飛び付いたが、マイナポイント制度の本格活用により把握した高齢者の金融資産の保有状況なども反映した保険料や負担の在り方を検討するという。高齢者世帯の30％は金融資産が2千万円以上である。権力が国民の財産まで管理するマイナポイント制度は、空恐ろしいシステムであることがこの問題でもよくわかる。（菊地憲之）

藩・幕府をも巻き込んで。接種を拡大するための障害としては、痘苗と呼ばれる接種用のウイルスを人体の中でいかにつけていくかだった。京から福井への道中は、雪の吹きすさぶ峠を越えていかねばならず、種痘の苗を受け継ぐ子どもたちを無事に国許に届ける場面は、良策の意思の強さを感じた。

しかし、城下での種痘開始は、人々の抵抗が予想以上に大きく、最初の2年間、良策は精神的にも経済的にも苦しい日々が続く。藩が本格的に種痘担当の目付を任命し、70人を

「感染症は忘れた頃にやってくる」を肝に銘じて。（大坪）

シネマランド

未曾有の疫病に立ち向った無名の町医者

監督 小泉堯史 / 2024年 / 日本 / 117分